

## 令和7年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人静岡豊田学園静岡豊田幼稚園長 宮下友美恵

学校法人静岡豊田学園静岡豊田幼稚園学校関係者評価委員会

### 1 幼稚園の教育目標

- 1 幼児期の発達段階に即した教育環境を整え、子どもたちの自発的な活動をもとにして、生き生きとした意欲的な子どもを育てる。
- 2 楽しく豊かな生活経験を通して、個性に応じたそれぞれの能力の芽生えを伸ばし、健康的で明るい子どもを育てる。
- 3 様々な表現活動を通して、豊かな心と創造性の芽生えを育てる。

### 2 本年度の重点目標

- ・子どもたちの成長を支える環境づくり（ごっこ遊びを中心として）
- ・インクルーシブ教育をチームで進める

### 3 評価項目に対する自己評価及び学校関係者評価結果

| 評価項目                          | 自己評価 |   |   | 学校関係者評価 |   |
|-------------------------------|------|---|---|---------|---|
|                               | 評価   | 取組状況  | 取組による成果   | 評価      | 意見  |
| 子供たちの成長を支える環境づくり（ごっこ遊びを中心として） | A    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・満3歳児、年少児は、見立てたり真似したりして楽しむ時期なので、家での生活をイメージしながらお家ごっこや簡単なお店屋さんごっこができる環境を工夫した。一人一人の思いを受け止め、安心して遊ぶことができる雰囲気大切に。それぞれの興味や経験してきたことが違うので、コーナーをいくつか作り、選んでごっこ遊びを楽しめるようにした。また、友達とかかわる楽しさに気づけるような援助もしてきた。</li> <li>・年中では、身近なことやこれまで体験してきたことをごっこ遊びで再現したいという思いが強くなってきたので、教師も遊びに必要なものを一緒に考えたり、作ったりして援助した。子どもの自分でやりたいという気持ちを大切に、使いやすい素材や材料を環境として用意し、時間はかかっても子どもが自分の力でやれるように見守ったり、励ましたり、認めたりした。</li> <li>・年長では、ごっこ遊びを進める空間をいくつか分けて作り、それぞれの遊びが伸び伸びと展開できるような環境づくりをした。子どもたちが自分たちのイメージを実現できるように、様々な材料を用意し、選んで使えるようにした。なりきって遊ぶことに興味、関心を持っている子が多かったため、衣装やアクセサリなど、身に付けるものを考えて作ることでできる環境を工夫した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・色や形で見立てることができそうな玩具を意識して準備することで、より見立て遊びを楽しむ姿が見られた。自分の言葉で遊びのイメージを伝えることが難しい子もいるので、教師が子どものイメージを適切に受け取って援助することを心掛けることにより、ごっこ遊びが継続して展開されるようになった。遊びを通して友達とのかかわりも増え、自分の思いを言葉で表すことができるようになってきた。</li> <li>・すでにあるものに自分で作ったものを加えて、友達と遊びの場を共有しながら楽しく遊ぶ姿が見られるようになった。友達と思いや考えを出し合うなかで、葛藤したり折り合いをつけたりしながら一緒に遊びを進める経験を大切にされたが、行事等が多くなる時期は、じっくりと遊ぶ時間がとれなかったことが課題である。</li> <li>・友達とイメージを共有しながら遊びを進め、広げていくことができるようになった。その中で、自分の役割を見つけ、協力しながら遊びに必要なものを自分たちで作る姿が見られ、充実感を味わっていた。クラスでの遊びは深まったが、年長児全体で交流したり、他の学年の子を自分たちのごっこ遊びに誘って遊びを進める姿が少なかったため、今後はそのような交流が生まれるような環境や援助を工夫したい。</li> </ul> | A       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちのごっこ遊びの様子を見ていると、その子の興味・関心がどこにあるのかよくわかる。先生たちが、子どもの発達の過程をよく理解したうえで、その時期に大切にすべき経験を捉えて、環境を工夫していると感じた。</li> <li>・家庭で見立て遊びをすることが減っていることが、イメージすることの難しさに繋がっているように思う。また、保護者が見立て遊びをすることの重要性を知らないため、安易におもちゃを与えているように思う。</li> <li>・普段の生活の中で情報を得ることがインプットで、ごっこ遊びで再現したいものを自分なりに再現することがアウトプットにあたると思う。そのような経験を十分にできる幼稚園の生活は子どもの成長に大きな影響を与えていると思う。</li> <li>・これからの時代、AIが仕事や生活の中に大きくかかわってくると思うが、AIを活用するためには、想像力が必要。それには、幼児期こそ実体験の積み重ねをすることが重要で、実体験を大切に、本物を環境として与えている豊田幼稚園の教育は素晴らしいと思った。</li> </ul> |
| インクルーシブ教育をチームで進める             | A    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人の特性を大切にしながら、その子に合わせたねらいを立て、環境や援助の仕方を考えるようにした。クラスの担任だけでなく、園の教職員全員で協力して保育を進めた。</li> <li>・苦手なことにも楽しくかかわっていけるよう、活動の進め方や声掛けを工夫した。</li> <li>・療育施設に通っている子どもについては、個別の指導計画を立て、必要に応じて保護者や施設の職員と面談をすることで支援の方向性を共有した。特に、行事への</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの枠を越えて、教師間で協力体制を組むことで、個別な支援を必要とする子にも、丁寧なかかわりをする事ができ、一人一人が安心して生活することができた。</li> <li>・クラス担任と預かり保育の担当者とも情報交換をすることで、しっかりと連携がとれた。</li> <li>・行事等では、その子のねらいを大切に、保護者とも連携することで、楽しんで行事に参加することができた。学年が上がるに</li> </ul>  | A       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園と療育施設の両方を並行して通っている園児が増えているとのことだが、療育に通っている子どもの保護者と話した時も、「担任の先生に加え、他の先生たちもその子のためにきめ細かな指導をしてくれている」と言っていた。年少の時は療育施設に通っていたが、そのような支援の積み重ねによって大きく成長し、年長では療育に通わなくてもよくなった。どの子もとに残さ</li> </ul>   |

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
|  | <p>取り組みについては、その子の様子を保護者にきめ細かく伝え、共通理解しながら進めていくように心がけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が外国籍の子どもについては、言語や生活習慣、文化の違いによってその子が園生活で困ることのないよう、全教職員で共通理解をし、子どもや保護者に対して丁寧なかかわりをするようにした。</li> </ul> | <p>つれて、課題のある活動や学年全体での取り組みが増えるので、より教師間の連携や保護者との共通理解が大切になってくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍の保護者には、伝わっていないことや分かっていないことがないか気を配り、対面で確認することで、保護者も子ども園生活に慣れ、信頼関係を築くことができた。</li> </ul> | <p>ないという園の姿勢が、子どもたちにより影響を与えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語が苦手な保護者にも、きめ細かく丁寧にかかわっている様子がよくわかる。保護者が安心して園生活を送ることができる。これからも一人一人に応じた指導を、チームで進めていってほしい。</li> </ul> |
|--|--|---|--|

評価（A…十分に成果があった B…少し成果があった C…成果がなかった）

#### 4 来年度取り組むべき課題

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の改善</li> <li>・体験の質を支える教師の役割を考える</li> <li>・幼小接続の推進</li> </ul> |
|--|

#### 5 財務状況

|                                       |
|---------------------------------------|
| <p>公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。</p> |
|---------------------------------------|